



# なのみ通信

令和4年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 11月15日 第8号

## 子どもが創る学校

11月11日、5年3組の子どもたちが、大分県にある立命館アジア太平洋大学 (APU) の留学生 (6名) とオンラインで英語での交流を行いました。外国の方へお勧めの都道府県の紹介です。



## 学校外での学習は子どもたちを大きく成長させます。

### ～平和の大切さ、協力することの大切さを学んだ修学旅行～



(5年生林間学校)

10月から11月にかけて、多くの学年の子どもたちが、学校を出て、様々なことを体験したり、学習したりしています。1・2年生の永利牧場見学、3年生の消防署・警察署見学、5年生の林間学校等、実際に見たり体験したりすることは、子どもたちにとって貴重な学びです。また、林間学校では、宿泊を伴い、集団行動を体験することで、協力することや役割に対する責任等、多くのことを学ぶ機会となりました。これから校外学習を予定している学年もあります。現在のコロナ禍においては、校外学習が困難になる場合もありますが、感染症対策を講じて、たくさんの経験ができればと願っています。

さて、11月4日(金)～5日(土)、6年生が長崎へ修学旅行に行きました、1日目は原爆資料館見学、原爆体験者の講話、班ごとの平和フィールドワーク。そして夕刻には、長崎市伊王島「アイランドナガサキ ミナトホテル」での宿泊。2日目はハウステンボスでの班活動。この二日間、平和について学び、協力することの大切さを学びました。平和学習では、体験者の方から次のようなメッセージを最後に話していただきました。

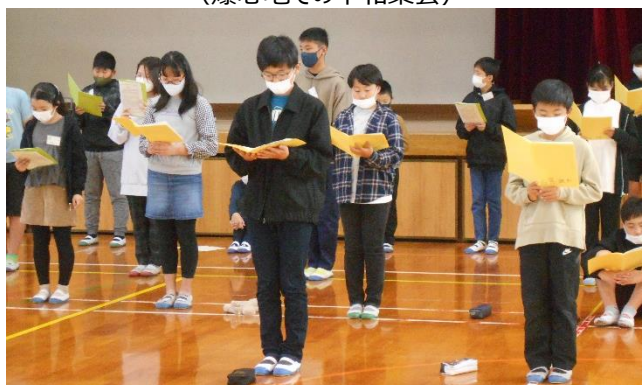
平和の原点は、人を思いやること。…わたしたちは無力ではありません。

平和な社会をつかっていくためには、人を思いやり、人と人のつながりを大切にしていくことを学びました。また、平和フィールドワークやハウステンボスでの活動等、班で行動することが多かった修学旅行でした。班で行動することは、時には意見が合わない場面も多々あったと思います。しかし、先生がいない班での行動は、相手のことを考え、互いの意見を尊重し、折り合いをつけなければなりません。道中、いろいろなことはあったと思いますが、それぞれの班が目的を達成し、無事に集合場所に戻ってきました。この修学旅行を通して、平和の大切さを学び、協力すること、責任を果たすことを学んだと思います。

今、「無力ではありません」の言葉を受け、修学旅行で学んだ子どもたちは、保護者の方や在校生に学習したことを発表しようと取り組んでいます。「アウトプット (学習発表)」での学びはさらに子どもたちを成長させてくれることと思っています。



(爆心地での平和集会)



(学習したことの発表に向けた練習)